

- 1 承久の乱の後、初代の六波羅探題として京都に留まり、のちに3代執権となって御成敗式目を定めた人物は誰？
 ① 北条政子 ② 北条時宗 ③ 北条義時 ④ 北条泰時
- 2 『枕草子』や『方丈記』と並び、日本文学における重要な3つの随筆をまとめて何という？
 ① 五街道 ② 三都 ③ 三大随筆 ④ 五畿七道
- 3 鎌倉時代に時宗を開き、踊り念仏で教えを広めた人物は誰？
 ① 一遍 ② 日蓮 ③ 親鸞 ④ 法然
- 4 時宗の僧である一遍が、念仏を唱えながら踊ることで信仰を広めた形式を何という？
 ① 唱題 ② 踊り念仏 ③ 座禅 ④ 念仏
- 5 『方丈記』において、乱世の出来事を通じて描かれた仏教的な思想を何という？
 ① 浄土信仰 ② 無常観 ③ 末法思想 ④ 現世利益
- 6 鎌倉時代後半、分割相続によって領地が細分化し、経済的に苦しくなった状態を何という？
 ① 分断 ② 衰退 ③ 繁栄 ④ 困窮
- 7 鎌倉幕府の重要職であり、土地の管理や年貢の徴収、裁判などを行って現地の武士を支配した役職は何という？
 ① 地頭 ② 守護 ③ 国司 ④ 執権
- 8 北条泰時が制定した御成敗式目の別称で、制定された年号に由来する呼び名を何という？
 ① 武家諸法度 ② 建武式目 ③ 貞永式目 ④ 公事方御定書
- 9 後鳥羽上皇が鎌倉幕府の打倒を目指して挙兵し、敗北した事件を何という？
 ① 承久の乱 ② 保元の乱 ③ 元寇 ④ 平治の乱
- 10 1221年に、朝廷の権力を取り戻すために鎌倉幕府を倒そうと挙兵した人物は誰？
 ① 後醍醐天皇 ② 後深草天皇 ③ 後白河上皇 ④ 後鳥羽上皇
- 11 日本初の武家法である『御成敗式目』を制定した、鎌倉幕府の第3代執権は誰？
 ① 北条時頼 ② 北条貞時 ③ 北条泰時 ④ 北条時房
- 12 鎌倉時代末期に、御家人の困窮や荘園制度の混乱の中で、幕府に従わず力で支配しようとした武士たちを何という？
 ① 守護 ② 悪党 ③ 御家人 ④ 地頭
- 13 鎌倉時代に制定された、武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定めた武士独自の法を何という？
 ① 大宝律令 ② 御成敗式目 ③ 建武式目 ④ 分国法
- 14 法然が掲げた、ただ念仏を唱えるだけで救われるという教えを何という？
 ① 専修念仏 ② 護国信仰 ③ 唱題 ④ 座禅
- 15 執権の北条泰時が御成敗式目を制定したのは何年？
 ① 1192 ② 1185 ③ 1232 ④ 1333
- 16 1221年に幕府打倒を計画し、承久の乱を起こした上皇は誰？
 ① 後白河上皇 ② 崇徳上皇 ③ 白河上皇 ④ 後鳥羽上皇

